

# Bellmark Shimbun

# ベルマーク新聞 6月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 活動の進め方、まとめました

「バーチャル説明会2026」公開／協賛会社からのお知らせも

新年度が始まり、2ヵ月が過ぎました。新しくベルマーク活動の担当になった保護者の皆さん、委員会活動やサークル活動で取り組みはじめた児童・生徒・学生の皆さんの中には、「ベルマーク運動って何だろう?」「何から始めたらいいの?」「何から始めたらいいの?」という疑問をもっている方がいるかもしれません。

そのような疑問にお答えするため、財団ホームページで「バーチャル説明会2026」(<https://www.bellmark.or.jp/foundation/30006745/>)を公開しました。すでに活動はしているものの、集めたマークの使い道を知らない方や、長年活動に携わっているからこそ最新情報を知りたい方も、このページを活用してみてください。

バーチャル説明会は、ベルマーク運動が始まった背景、教育支援につながる仕組み、支援の具体的な内容などをまとめた動画「未来を育むベルマーク(2026年度版)」から始まり、「運動の現状」「『基本ルール』と各種資料の使い方」「活動の事例集」と続きます。

「運動の現状」では、小・中学校の参加率や寄贈マークの到着件数、支援の原資の説明をしたほか、ソフト事業「教育応援隊」にも触れました。

「『基本ルール』と各種資料の使い方」は、活動の進め方や財団から届く資料の内容を、実務の流れに沿って説明した動画です。

「活動の事例集」は、参加団体の活動例をもとに作っています。ベルマーク活

動をより有意義なものにしようと工夫を凝らした活動例が、全国にはたくさんあります。イメージを持ってもらいやすいよう、実際の活動風景を撮った写真を多く使いました。

活動方法をもっと掘り下げて知りたい方のために、個別の記事のURLも掲載しました。休止していた活動を再開して軌道に乗せた小学校、生徒が主体となって活動している中学校、小学生と保護者が一緒に取り組める社会貢献活動としてベルマークを活用している例です。この3つの例以外にも、財団ホームページではさまざまな活動例を紹介しています。

協賛会社からも情報が寄せられました。キューピー(ベルマーク番号07)、

クレハ(同10)、ショウワノート(同53)、クツワ(同55)、湖池屋(同77)からのお知らせです。マークが付いている商品の紹介や、オリジナルのベルマーク集票シート、SDGsを分かりやすく伝えるアニメーション、小学生向け社会科見学やPTA向け講演会の案内、豪華賞品が当たるキャンペーンの告知など、さまざまな情報が集まりました。

最後に、ベルマーク預金を貯めるもう一つの方法「ウェブベルマーク」についても紹介しています。運営はウェブベルマーク協会です。

2026年度もベルマーク運動をどうぞよろしくお願いいたします。

## 石川・輪島市立輪島中から感謝メッセージ

2面で、支援先から届いた写真をまとめて紹介

2025年度に、能登半島地震の被災地支援対象校のひとつとして備品を贈った、石川県輪島市立輪島中学校から写真とメッセージが届きました。

届いたのは、体育館でカラーコーンを使っている生徒の写真。保健体育の授業でウォーミングアップをしている姿です。

同校は能登半島地震によって施設や設備などに大きな被害を受けました。福光明校長によると、「体育備品で使用していたカラーコーンは、現在も危険場所との隔離

に使用されたり、破損してしまったりして、授業で利用できるものがない状態だった」といいます。そのため、今回の支援で、生徒が使うためのカラーコーンを希望することにしました。「生徒たちも新しいコーンで気持ちよくウォーミングアップに参加し、楽しんでいる様子が見えたとのことでした。

財団には輪島中のほかにも、多くの支援先から写真が寄せられています。今月号の2面でまとめて紹介していきますので、ご覧ください。



新品のカラーコーンを使ってウォーミングアップ